

SERIES リベラルアーツ：自由に生きるための知性とはなにか  
10. 「本を読む、物を書く、編集する」参考文献一覧

卒業生におすすめしたい一冊

■ ゲスト：

坂上 陽子（文芸誌「文藝」編集長）

- ・ チャールズ・ブコウスキー著、都甲幸治訳『勝手に生きろ！』河出文庫、2007年

山本 貴光（ゲーム作家・文筆家）

- ・ アイザック・アシモフ著、池央耿訳『黒後家蜘蛛の会』創元推理文庫、1976年

吉川 浩満（文筆家・編集者）

- ・ エリック・ホッフナー著『波止場日記 労働と思索』みすず書房、2014年
- ・ シモーヌ・ヴェイユ著、田辺 保訳『工場日記』ちくま学芸文庫、2014年

■ モデレーター：

瀧本 和成（立命館大学文学部教授）

- ・ ヴァルター・ベンヤミン著、佐々木基一編集・解説『複製技術時代の芸術』晶文社、1999年
- ・ 井上ひさし『文書読本』新潮社、1987年

以下は「本物に触れてみる、時代に触れてみる」というお話のなかで紹介されました。

（初版本4冊）

- ・ 太宰治『人間失格』、筑摩書房、1948年
- ・ 井伏鱒二『黒い雨』、新潮社、1966年
- ・ 村上春樹『国境の南、太陽の西』、講談社、1992年

（雑誌1冊）

- ・ 『プレイガイドジャーナル』、プレイガイドジャーナル社、1985年

以上

これまでに開催した教養教育センター主催企画の中でご紹介した文献や、  
登壇者からのおすすめ本は、以下のサイトからご覧いただけます。

【ブクログ：立命館大学教養教育センター各種企画のおすすめ本】

<https://booklog.jp/users/ritsumeikan-univ>